



『 乳腺エコー検査について 』

乳がん検診の方法として主流なものはマンモグラフィ検査です。早期発見に活躍している検査で国も推奨していますが、乳腺量が多い人では腫瘍が正常乳腺に隠れてわからないことがあります。

そこで、併用して受けていただきたいのが乳腺エコー検査です。ベッドの上で仰向けになり、ゼリーをつけ、超音波をあてて検査します。痛みはなく被ばくもありません。石灰化を伴わないしこりだけの病変は、マンモグラフィではある程度の大きさまで成長しないとわかりませんが、エコー検査では数ミリ大のものから発見できます。

それぞれ得意な対象が異なるため、どちらが良いというものではありません。より正確な診断を行うために、併用することをお勧めします。がんの早期発見に効果的なのは勿論、一方で怪しく写った影に異常なしの判断をすることもできるので、不要な精密検査を防げます。

日本人女性の 16 人に 1 人が乳がん罹患していますが、早期に治療すればほとんどのがんは治ります。早期発見に努めましょう。



鹿児島県厚生連
診療放射線技師
平原尚子